

**私たちは、国循バイオバンクご協力者からいただきました
生体試料・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています**

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の問合せ先の担当者まで直接お問合せください。この研究ではご提供いただいた生体試料等を用いて解析し、データとしてまとめるものであり、ご本人またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身が国立循環器病研究センター（国循）バイオバンクに提供された生体試料・診療情報等を「この研究課題に対しては利用してほしくない」と思われた場合には、国循バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書を国循バイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくは国循バイオバンク事務局までその旨ご連絡ください。

【対象となる方】

国立循環器病研究センター バイオバンクの同意をいただいた方のなかで、DダイマーまたはBNPの血液検査を受けられた方

【研究課題名】

Dダイマー定量測定における、ラテラルフロー法電気化学式免疫センサと既認証標準測定法との相関性に関する試験および、同測定法基盤技術を用いたNT-proBNP定量測定への応用

【研究責任者】

国立循環器病研究センター バイオバンク バイオバンク長 朝野仁裕

【研究の目的・意義】

Dダイマーは、血栓が溶かされた際に生じる物質の一つです。Dダイマーの数値上昇は血栓の存在を示しているため、血栓塞栓症（血の塊が血管を塞ぎ、様々な不具合が生じる病気）などの診断に用いられています。心不全では、その重症度に応じてNT-proBNPの血中濃度が増加することから、心不全の診断や循環器専門医への紹介基準として活用されています。

今回の研究では、新たに開発された手法（ラテラルフロー法電気化学式免疫センサ）とこれまでの手法（既認証標準測定法）でDダイマーおよびNT-proBNPを測定し、新手法と既存法の測定結果を比較することで、新手法の性能を評価します。

【利用する生体試料・診療情報】

生体試料：EDTA 血漿および全血、クエン酸血漿および全血

診療情報：年齢、性別、試料採取日時、検査値と測定方法（D ダイマー、BNP）、診断名

【生体試料・情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【研究の実施体制】

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター バイオバンク バイオバンク長 朝野仁裕

共同研究機関・研究責任者

株式会社イムノセンス 代表取締役 杉原宏和

【外部機関への情報等の提供】

生体試料・情報を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は削除し、個人が直接特定できないようにします。

提供方法：直接手渡し

【研究期間】

研究許可日より 2027 年 3 月 31 日まで（予定）

情報公開日よりあなたの生体試料・情報を利用します。

【個人情報の取り扱い】

国循バイオバンクでは、お預かりした生体試料や診療情報等に個人を直ちに特定できないよう加工を行い、ご協力者の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、倫理審査委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

国循バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記の国循バイオバンク事務局までお問合せください。

【この研究の結果について】

ご提供いただいた生体試料や情報を使い、将来行われる遺伝子解析を含む医学研究で得られた結果の多くはそのままではすぐに医療に役立つものではありません。そのため協力いただいたご本人へお返しすることは原則ありませんが、ご本人と血縁者の健康にとって重要な情報と判断された時は、ご本人の希望があれば研究責任者と主治医の連携のもとで連絡をさしあげる場合があります。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター バイオバンク事務局

電話：06-6170-1070（内線 31050）

ファックス：06-6170-2179

E メール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp